



2025年3月19日

各位

会社名 日本航空株式会社
代表者 代表取締役社長執行役員 鳥取 三津子
(コード: 9201 東証プライム市場)
問合せ先 財務部長 西澤 修英
(TEL 03-5460-3121 (代表))

利払繰延条項・任意償還条項付無担保永久社債（清算型倒産手続時劣後特約付）
の発行に関するお知らせ

当社は、本日、公募形式による利払繰延条項・任意償還条項付無担保永久社債（清算型倒産手続時劣後特約付）（以下、「本永久劣後債」という）の発行に関する決議を行い、訂正発行登録書を提出しましたので、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 本永久劣後債発行の目的と背景

当社グループは、「世界で一番選ばれ、愛されるエアライングループ」となることを目指し、「2021-2025年度 JAL グループ中期経営計画」を全社員一丸となって遂行しております。企業価値向上を実現するための経営資源配分として、本日公表の「中期経営計画ローリングプラン 2025」のとおり、新型機材の購入や、マイルを中心とした非航空領域への成長投資を予定しています。

このような背景のもと、不確実性の高い経済環境下における想定外の外部環境変化にも備え、社会インフラ企業として安定した経営を維持しつつ、事業戦略の推進に向けた財務基盤の強化を実現するため、本永久劣後債による資金調達を決定しました。なお、当社は「中期経営計画ローリングプラン 2025」を促進するべく、本永久劣後債に係る訂正発行登録書の提出に加え、本日付で2025年6月24日に開催予定の第76期定時株主総会に社債型種類株式に係る定款の一部変更を付議することを取締役会において決議し、第1回社債型種類株式の発行登録書を提出しております。

本永久劣後債は、償還期限の定めがなく利息の任意繰延が可能であるといった特徴に鑑み、国際会計基準（IFRS）における「資本性金融商品」に分類され、当社連結財務諸表上、調達した全額が「資本」に計上されます。このような商品性を踏まえ、本永久劣後債は初回任意償還日の翌日以降、調達した金利がステップアップ（500bp）する設計としています。そのため、本永久劣後債には格付会社による資本性はありますが、本調達は当社の大規模な成長投資を支える財務基盤の構築に寄与します。

2. 本永久劣後債で調達した資金の使途

新型機材の購入や、マイルを中心とした非航空領域への成長投資の資金に充当する予定です。

ご注意：このお知らせは、利払繰延条項・任意償還条項付無担保永久社債（清算型倒産手続時劣後特約付）の発行に関して、一般に公表することを目的としており、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的としておりません。

3. 本永久劣後債の概要

(1) 社債の名称	日本航空株式会社第1回利払繰延条項・任意償還条項付無担保永久社債 (清算型倒産手続時劣後特約付)	日本航空株式会社第2回利払繰延条項・任意償還条項付無担保永久社債 (清算型倒産手続時劣後特約付)
(2) 発行額	未定	
(3) 条件決定日	4月中を想定	
(4) 払込期日	4月中を想定	
(5) 償還期限	期限の定めなし ただし、初回任意償還日以降の各利払日において、本永久劣後債の全部（一部は不可）の任意償還が可能	
(6) 初回任意償還日	払込期日から5年後の応当日	払込期日から10年後の応当日
(7) 利払の任意停止	当社の裁量により、本永久劣後債の利息の全部または一部の支払いの繰り延べが可能	
(8) 劣後特約	本永久劣後債は、清算手続、破産手続または日本法によらない外国における清算手続、破産手続または清算手続もしくは破産手続に相当する手続において劣後性を有する。なお、本永久劣後債に係る契約の各条項は、いかなる意味においても上位債務の債権者に対して不利益を及ぼす内容に変更することは認められていない	
(9) 債券予備格付	株式会社格付投資情報センター：BBB 株式会社日本格付研究所：BBB+	
(10) 主幹事会社	大和証券株式会社（事務） 野村証券株式会社 BofA証券株式会社 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 みずほ証券株式会社	BofA証券株式会社（事務） 大和証券株式会社 野村証券株式会社 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 みずほ証券株式会社

4. 今後のスケジュール

本永久劣後債については、需要状況や金利動向等を総合的に勘案した上で、発行金額等の条件を決定する予定であり、決定次第すみやかにお知らせいたします。

以上

ご注意：このお知らせは、利払繰延条項・任意償還条項付無担保永久社債（清算型倒産手続時劣後特約付）の発行に関して、一般に公表することを目的としており、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的としておりません。